

会議録（１）

会議の名称	第20回飯能市地域公共交通対策協議会
開催日時	令和4年11月7日（月） 開会 午前10時00分 閉会 午前11時30分
開催場所	飯能市役所本庁舎5階 第1・2委員会室
会長氏名	飯能市長 新井 重治
出席委員	吉田 樹、細川 正大、関根 康洋、山岸 実、藤原 康之、 関根 肇、松原 緑、美濃浦優孝、岩澤 貴頭、榎本 聡、 荒井 利夫、木崎 稔生、栗原 典夫、渡辺 正幸、平沼 庸生、 浅見 浩士、遠藤 照夫、的板 幹雄、中里 忠夫、平沼 弘、 双木 和宏、西野 利彦、堀口 喜由、大野 悟、内沼 和彦 (柳 真一 代理 藤吉 正仁)
欠席委員	小川ゆかり、浅見 国昭、大野 康、新井洋一郎
オブザーバー	国土交通省関東運輸局交通企画課長 松木 拓 (代理 同専門員 山口 智之 随 行 同調査員 倉持 圭介)
説明者の職氏名	飯能市市民生活部長 細田 幸二 飯能市市民生活部交通政策課長 佐野 敬子 飯能市市民生活部交通政策課 山田 祥平 飯能市市民生活部交通政策課 井戸入大輝 飯能市市民生活部交通政策課 徳光 風花
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	飯能市市民生活部長 細田 幸二 飯能市市民生活部交通政策課長 佐野 敬子 飯能市市民生活部交通政策課 山田 祥平 飯能市市民生活部交通政策課 井戸入大輝 飯能市市民生活部交通政策課 徳光 風花 ※この外、飯能市地域公共交通計画策定業務委託の受注業者として日本工 営株式会社から2名、本協議会の支援業務のため出席した。

会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 南高麗地区支線乗合交通の実証運行内容について

【資料1】、【資料1-1】に基づき事務局より説明を行い、内容について承認を得た。

(2) 第2次飯能市地域公共交通計画（素案）について

【資料2】、【資料2-1】に基づき事務局より説明を行い、内容について了承を得た。

(3) その他

議事なし

4 その他

・名栗街道乗合バス開通100周年記念事業について（報告）

・今後の地域公共交通計画の策定に関するスケジュールについて（報告）

5 閉 会

会議録（3）

発言者	発言内容
事務局	(開会)
会長	(あいさつ)
事務局	(欠席・代理の委員の報告) (傍聴なしの報告)
事務局	議事の進行につきましては、協議会開催要綱第5条により、本協議会の会長であります、新井市長にお願いいたします。会長、よろしくお願いいたします。
会長	それでは、議事を進めさせていただきます。まず、「(1) 南高麗地区支線乗合交通の実証運行内容について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料1、資料1-1に基づき説明)
会長	ただいま事務局から、南高麗地区支線乗合交通の実証運行内容について説明がございました。この件について、委員の皆様からご意見、ご質問等がございますか。
委員	9月1日から実証運行が始まり、市長をはじめ様々な方にお集まりいただき出発式をしていただいた。利用者数の具体的な数値は把握できていないが、バス停を見るとバス待ちの住民も頻繁に見られるようになり、終点の間野黒指ではハイカー5～6人がバスから降りて山登りに出かけるところに出くわしたこともある。地域に歓迎されて便利に利用されているものと認識している。11月からはワゴン車両となり、車両も良いデザインでバス好きの方にも話題になると思われる。そんな中でご利用された方から様々な声が自治会長会議等の場で聞こえてくるが、協議事項にあるフリー乗降制度の適用区間が拡大されることはありがたい。今後も本協議会等の場で意見交換しながらより使いやすい交通システムになると良い。地域として御礼申し上げる。

事務局	頂戴した意見は今後の運行の参考とさせて頂き、より良い移動手段となるように努める。
会長	他にごございますか。無いようですので、これより審議に移ります。 南高麗地区支線乗合交通の実証運行内容について、資料1のとおりとし、本協議会で承認されたものとして、国土交通省に申請することについてご異議ございませんか。
委員	(異議なし、の声あり)
会長	ありがとうございます。それでは以上のとおり承認されたものとして、申請することといたします。
会長	それでは次に、「(2) 第2次飯能市地域公共交通計画(素案)について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料2、資料2-1に基づき、I現状と課題編について説明)
会長	ただいま事務局から、第2次飯能市地域公共交通計画(素案)のI現状と課題編について説明がございました。この件について、本協議会分科会の座長を務めていただいております吉田委員からご意見、ご質問等ございますか。
委員	乗合ワゴンの実証運行を始める際に地域公共交通網形成計画を改訂したが、その時に法改正があったため地域公共交通計画と名称を変更している。このため、今回の改訂で第2次飯能市地域公共交通計画となる。 コロナ禍により公共交通は厳しい状況下にあるが、それ以外にもいくつかの特徴的な変化が見られた。 P35の「将来(10年後)の外出に対する不安がある人」の割合を見ると、70歳代以上の高齢者は高止まりしている一方で、若い世代はここ5年間で割合が上昇していることが特徴的である。埼玉県内の別の自治体や栃木県の自治体においても同じような傾向があり、核家族化の進行による子どもの送迎に対する不安が高まっていることが明らかになった。飯能市の場合、市外に通勤している割合が相対的に高いということになると、例えば子供の塾の送迎などについて

事務局	<p>保護者が不安をもっていることが多くなってきていると考えられる。その点が大学進学時に飯能市を出た若い世代が将来戻ってくるかどうかに影響していると考えられるため、若い世代に対してどのような施策で訴求していくかが課題になってくると思われる。その点、良い面としてはバス定期券の補助を実施しており、その他の施策をどのように展開するかについて議論を進めることが重要である。</p> <p>P37の「公共交通に対する満足度」を見ると、5年前の調査と比較して各地域において鉄道や路線バスの満足度が高くなっていることは明るい兆しである。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に水を差されたものの、皆様にご協力頂いた取組が実を結びつつあることを好意的に捉えたい。</p> <p>P3のコミュニティバスの位置づけの記載内容について、「行政が中心となって」ではなく、「地域と目的や目標を共有しながら行政も主体的に」ということが読み取れる内容となるよう修正することが適切であると考えられる。P23についても同様に文章を修正することが望ましい。</p> <p>P32、33の主な移動手段について、集計方法を明記してほしい。また、P32の通勤・通学について、鉄道と自動車（自分で運転）という回答が多いが、飯能市を含む近郊に通勤・通学するか、都内に通勤・通学するかで傾向が違うと考えられるため、分けて集計することが望ましい。それに合わせて、P42の市民アンケート調査からの問題点、課題の1点目の書き方も見直した方が良い。</p> <p>また、3点目については、公共交通の利用割合の減少への対策が、「分かりやすい情報提供」や「企画実施等による効果的な周知」で良いのかを再検討する必要がある。公共交通が利用されなくなった要因を探り、新型コロナウイルス感染症の影響により混雑している鉄道・路線バスの密が警戒されているのであれば安全に運行していることをアピールする、交通はおでかけ先があって成り立つものであるためおでかけ先とセットになった利用促進をする等の対応策が考えられるため、解像度を上げて記載した方が良い。</p> <p>P3については、地域公共交通網形成計画の「つくる」にあたる部分であり、これまでに地域の皆様と議論し、交通事業者と協力しながら進めてきたものである。行政だけが取り組んできたものではないため、文言を修正する。</p> <p>P32の通勤・通学については、鉄道と自動車（自分で運転）という回答が多いが、飯能市を含む近郊に通勤・通学するか、都内に通勤・通学するかで傾向が違うことについては、全体の移動手段のほかに鉄道を利用する場合の駅までの利用手段も聞いているため、集計方法を見直す。</p> <p>P42については、これまでの状況もよく踏まえた上で対応策を考え、記載する。</p>
-----	--

会長	<p>他にございますか。無いようですので、これより次の議事に移ります。</p>
事務局	<p>(資料 2、資料 2-1 に基づき、Ⅱ施策編について説明)</p>
会長	<p>ただいま事務局から、第 2 次飯能市地域公共交通計画（素案）のⅡ施策編について説明がございました。この件について、委員の皆さまからご意見、ご質問等ございますか。</p>
委員	<p>P59 の取組内容②について、乗合ワゴンは隔日運行であるため時刻表の検索が上手くいっていない。時刻表等の標準フォーマットである GTFS は自前で作成できないことはないが、多くのバス路線を抱えるバス事業者や、バス事業者でない西武ハイヤーが実施するにしても課題があり、まずは誰がやるかという議論をしていく必要がある。現状としてなぜできていないのか、何を実施したいのかをもう数行追加して記載した方が良い。</p> <p>P63 の新モビリティサービスについて、例えば西武バスが市内の美杉台線で、国際興業バスが浦和美園でやったようにバス事業者が自治体と連携をしながら自動運転の実証実験をすることは前向きで良いことなので、飯能市を自動運転サービスのフィールドとして活用したいのであればこれくらいの記載が良い。一方で、5 年間で自動運転が実用的になることはなかなか考えにくく、新モビリティサービスの導入により運行の効率化が図れるように見えるがそうになっていない場合もあるため、他の施策と並列した書き方が適切かを精査する必要がある。飯能市は輸送資源の総動員をすでに実践しており、新規性のある目立った施策は少ないように見られがちだが、5 年間で利用者の満足度が上がるなどしっかりと効果を得ており、新モビリティサービスを特出しして記載する必要があるか疑問が残るところである。</p> <p>P66 の基本目標 1 の指標について、基準値である令和 2 年は新型コロナウイルス感染症の影響下の数値であり、交通事業者としてもこの数値が続くことは好ましくないため、「現状維持」ではなく「現況値以上」とした方が良い。</p> <p>また、基本目標 3 の指標 3-2 について、「公共交通利便地域」という表現を使用しているが具体的な説明がないため、注釈を加えることが望ましい。あわせて P14 の公共交通利便地域について片道か往復かを説明文に明記されたい。また、この数値目標には現状として公共交通の利便性が高い地域の人口減少率は、飯能市全体の人口減少率よりも低く抑えるという狙いがあることにも留意</p>

事務局	<p>されたい。</p> <p>P59については、ホームページ上では乗合ワゴンの時刻表をPDFで掲載して案内しているが、スマホ等で検索できるようにしたい。すぐに実現できることではないという旨の補足を追記する。</p> <p>P63については、交通事業者から自動運転はすぐに進むものではないことをうかがっているが、このとおり記載するか、他の施策の1つとして記載するか検討する。</p> <p>P66については、目標指標についてはご指摘のとおり注釈を加える等修正をする。</p>
委員	<p>P60 施策2の取組内容③について、元加治駅南口の開設は何も決まっていない内容であるため、当社としては市政の方針ということで認識している。その点をご理解いただきたく、よろしくお願ひしたい。また、取組内容①のロータリーの使い方の記述について、実施主体が交通事業者、市という順番になっているが、交通事業者が前に記載されていることへの考えはあるか。飯能駅のロータリーで市が具体的に考えていることがあればご教示いただきたい。</p>
事務局	<p>取組内容③については、市として進めていきたい取組ということで記載している。</p> <p>取組内容①については、現状として市が考えている具体的な施策はない。また、実施主体について以前メツツアのシャトルバスの運行を開始した際、交通事業者主体でバス待ち動線の整備等をしていただいた。飯能駅北口ロータリーは西武鉄道(株)が土地所有者であり、交通事業者を中心に運用が検討されてきた経緯があったため、今後も本計画を基にして、交通事業者と市でご相談をしながら事業を進めたいと考え、このような記載とした。実施主体の記載方法については今後相談させて頂きたい。</p>
会長	<p>他にございますか。無いようですので、以上とさせていただきます。</p> <p>「第2次飯能市地域公共交通計画(素案)」については、資料2、資料2-1のとおりとし、引き続き策定することについて異議はございませんか。</p>
委員	<p>(異議なし、の声あり)</p>

会長	<p>ありがとうございます。それでは以上のとおり了承されたものとして、策定を進めることといたします。</p>
会長	<p>それでは次に、「(3) その他」を議題といたしますが、事務局から議題はございませんが、委員の皆様から何かございましたら、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>よろしいですか。無いようですので、本日の議事は以上とさせていただきます。長時間にわたりご協力をいただき、ありがとうございました。事務局に進行をお返しいたします。</p>
事務局	<p>皆様、活発な意見交換ありがとうございました。4 その他については、事務局から2点報告がございます。</p>
事務局	<p>事務局より以下について報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名栗街道乗合バス開通100周年記念事業について ・今後の地域公共交通計画の策定に関するスケジュールについて
事務局	<p>事務局からは以上でございます。他に委員の皆様から何かございましたら、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>無いようですので、以上をもちまして、第20回飯能市地域公共交通対策協議会を閉会させていただきます。長時間にわたり、ご議論いただきありがとうございました。</p> <p>(閉会)</p>